

議会運営委員会行政視察報告

【視 察 日】 令和元年 7 月 1 6 日（火）～ 1 7 日（水）

【視 察 委 員】 岡村好男委員長、油井和行副委員長、多田晃委員、鈴木岳幸委員、
遠藤久仁雄委員、石井通春委員、大石保幸委員、植田裕明委員、
藪崎幸裕議長、小林和彦副議長

【視 察 先】 滋賀県 長浜市 、愛知県 岩倉市

【調 査 事 項】 議会改革の取組みについて（長浜市）
議会改革の取組みについて（岩倉市）

滋賀県 長浜市

【調 査 概 要】

1. 市の概要（人口 118,676 人・面積 681.02 k m²）

滋賀県の東北部に位置し、北は福井県、東は岐阜県に接する。琵琶湖に面し、戦国時代を偲ばせる長浜城や小谷城跡、賤ヶ岳、姉川古戦場など歴史的遺産が豊富。早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキングは全国第 19 位。

2. 取り組みの経緯・内容

選挙経過を明らかにし、透明性のある議会運営を目指して、平成 30 年度から立候補制に基づく正副議長選挙を実施。立候補者の所信表明は本会議の休憩中に議場で行い、インターネット中継により公開している。立候補届兼所信表明の受理、所信表明の質疑の受付等のため、会派代表者を委員とする選挙委員会を設置している。

議会基本条例の検証は、自己検証ののち議会運営委員会で検証結果をとりまとめ、外部有識者との意見交換を経て公表している。

議員報酬について、特別職報酬等審議会では「据え置き」との意見があったが、「多くの人材が議員に立候補したいと思える報酬額にすべき」等の意見もあり、平成 28 年度に、1 万 4 千円（約 3 %）引き上げられた。

3. 今後の課題

地方自治法上、正副議長の立候補制の規定はなく、あくまでも申し合わせ事項で実施しており、立候補（所信表明）をしない議員に票が入る可能性もあること。また事前の会派間及び会派内の人事調整も行われている。

議会基本条例に立ち戻って検証を行い、その結果に基づいて、議員間討議等を含めて、常に改革推進に向けての努力と研鑽が必要。

4. 本市に反映できると思われる点

正副議長の立候補制は、地方自治法上は認められていないが、本会議の休憩時間の活用により導入している点。但し、立候補者がひとりの場合、政策重視の議長選挙という観点から所信表明を実施するべきか、また表明に対する質疑を行うか等については検討を要する。

議会基本条例の検証は実施するべきで、検証結果に基づいて更なる議会改革を推進する必要がある。

議員報酬の増額については、単純に定数を減らして報酬を上げるという議論ではなく、どの程度の定数、報酬が妥当なのかを検証すること。また特別職報酬等審議会が定期的に開催されるよう、議会改革委員会や議運で報酬議論を活発化させていくことが必要。

愛知県 岩倉市

【調査概要】

1. 市の概要（人口 47,985 人・面積 10.47 k m²）

愛知県北西部に位置し、東は小牧市、西は一宮市、南は北名古屋市に隣接、古くから西尾張地域の交通の要衝地として、交通アクセスに優れている。最新の議会改革度ランキングは、前年より19位上昇し全国第4位。

2. 取り組みの経緯・内容

議会基本条例の検証が毎年行われており、検証結果に基づいて、各種取り組みを実施している。市民の多様な意見を把握し市政に反映させるため「議会サポーター制度」を設置。また「ふれあいトーク」と称する意見交換会を積極的に開催、平成30年度は、議会報告会を含めて年間15回開催している。

3. 今後の課題

基本条例の自己検証は積極的に行っているが、第三者による検証は未実施。

市議会サポーター制度は定数100名のところ22名の参加にとどまっている。

委員会における討論は定着したが、本会議における討論は検討中。

意見交換会は一切動員をかけずに実施しているため参加者が少ない。

4. 本市に反映できると思われる点

議会報告会や市民との意見交換会、さらには市議会サポーター制度など、市民からの要望や政策提言等をきめ細かく聞きだす機会を創設していることに大いに感心する。藤枝市でも意見交換会の回数をもっと増やすべき。

市民との意見交換会で出された政策提案、質疑、要望等を委員会の議論に振り分け、本会議の中で委員会としての代表質問を行っている点は参考にするべき。またこの代表質問の作成にあたっては議員間討議を行っており、議員の質の向上につながっている。